

高 専 通 信

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY(KOSEN), TOMAKOMAI COLLEGE

VOL.
157



オリエンテーション

クラブ活動紹介

TOPICS

高専協力会だより

2021年10月発行

苫小牧工業高等専門学校

〒059-1275 苫小牧市字錦岡443

苫小牧工業高等専門学校総務課総務係

<https://www.tomakomai-ct.ac.jp>

[MAIL] pub_info@tomakomai-ct.ac.jp

電気電子系 オリエンテーションに参加して

私たち電気電子系2年のオリエンテーションでは、各先生の実験室に訪れ、進路のことや、系の特色、主な職業先や、進学先などを教えていただきました。その後、各先生の自己紹介があり、実験室での実験内容やお試して簡単な実験を見せていただきました。奥山先生の実験室では真空破壊を、見せていただきました。空気中を大きな音で雷みたいなのが走り、言葉に出来ないような衝撃でした。そのあとは、専攻科の先輩方が系についてお話ししてくださり、今後の学生生活の参考になりました。今年から私たちは電気電子系の学生として、創造工学の時間に学んだたくさんのことを生かし、興味を持って学んでいこうと思います。



2年4組
小野瀬 聡太

機械系オリエンテーションを終えて

私たち、機械系2年生のオリエンテーションではこれからお世話になる先生方の紹介や機械系の特徴・学習上の注意点、先輩方からのアドバイス、自己紹介などがありました。就職関係や進学状況、今何をするべきなのかなど体験談を元に話していただき、とてもよい刺激になり、これからの高専生活がより一層楽しみになりました。自己紹介の最後に担任の先生が目標を持つことの重要性について具体例をもとに話してくれました。立てた目標を達成するには日々の地道な努力が必要です。その地道な努力をできる人は多くいません。だからこそ、そういう人になりたいと思いました。

最後に、機械系でよかったと思えるようにクラスメイトと沢山の思い出を残していきたいです。



2年1組
本間 久聖

第2学年

オリエンテーション

都市・環境系 オリエンテーションを終えて

創造工学科都市・環境系第二学年のオリエンテーションでは、先生方や先輩方から主に今後私達が何を学び、どのように将来の仕事に活かされていくのかを教わりました。

特に先輩方からのお話では、勉強や資格、高専生活でとても重要となることなどを聞かせていただき、今の自分が出来る事、すべきことは何かなど今後の自分の未来像を鮮明にイメージすることができました。

この系では、橋やダムなどの大きなものを作る仕事に関係する勉強をしていきます。一人では大きなものを作ることはできません。そのためにまずはこのクラスで四年間、お互いに助け合い、自分たちで未来への架け橋を造っていききたいと思います。



2年2組
七島 峻

情報科学・工学系の場合

4月13日、情報科学・工学系第2学年オリエンテーションが実施されました。内容としては、各先生方による情報科学・工学系の概要・専門教育カリキュラム・就職及び進学状況の説明、クラス内の個人における自己紹介、専攻科1年生の先輩学生によるこれからの学生生活のアドバイスでした。

クラス内では、情報科学・工学系のカリキュラムや就職および進学に関する説明について各自の認知に相違があったのか吃驚がありました。また、先輩学生のお話の際は、己がこれから何に努めるのか、どのような考えを持つのかを教わりました。

最後に、初めての試みが多い中で一致団結し、皆で一年過ごせるよう願っております。



2年5組
八島 鼓次朗

応用化学・生物系の オリエンテーションを受けて

初めに応用化学・生物系でどのようなことを学んでいくか、応用化学・生物系の4年間の流れについて話を聞きました。化学系の授業が増えるということは理解していましたが、具体的な内容を知ることができました。専攻科の先輩からは、学習や実験レポートについて話を聞きました。私自身、レポートに対して不安があったのですが、先輩の経験談を聞くことができ少し安心しました。そして、先生方の紹介があり、教員室やこれから使う実験室を案内していただきました。普段見ることのない場所を見ることができ、貴重な経験になりました。最後にはクラスで親睦を深めるゲームを行いました。新しいクラスになってまだ一週間しか経っていませんでしたので、お互いを知るいい機会になりました。

これから一緒に学んでいくクラスメイトとともにより深く化学を学んでいきたいです。そして、クラス全員で卒業できるように頑張っていきたいです。



2年3組
畑 晃聖

サンバー ハサル

留学生紹介

3年5組



私は今年から留学することになったハサルです。初めて日本に留学しようと思ったのはアニメ見始めた中学生ごろだ。しかし、日本をアニメの世界と同じだと思ったからではなかった。本当は日本語の発音が気に入ったからというわけだ。

日本語は川の流れのように聞かせる。そして、日本語を聞くのは非常にいい感じを受ける。そういうわけで私は学校を卒業して日本語を学んで留学するときだった。日本語を学び始めて色々な失敗をしたが、いよいよ日本に留学することが出来た。

長い時間をかけて日本に留学できるようになったが、実は日本について何も知らなかった。そして、私は気付いてないうちに日本をアニメのように想像してしまった。その想像は高い建物と電車に乗って学校まで行くとかだった。ただし、苫小牧市はちょっと違った。

私は初めて苫小牧市に来て「ええ、これ日本じゃない」と頭の中に言っていた。なぜなら、天気と町がモンゴルと同じだったからかも知れない。しかし、今それがよかったと思っている。苫小牧市は大きな市ではないが、色々なメリットがあった。例えば、安全で勉強に注意できる、夜によく眠れる。それに、天気がモンゴルと同じだからすみやすい。

始めはちょっとかなしかったが、今多く友達ができて苫小牧市の色々なメリットに気付いて苫小牧高専に入学して良かったと思っている。

国際家族法に関する研究

私は、国際的な結婚や契約など、何らかの国際的要素をもつ個人間の法律関係に適用される法を決定する「国際私法」という法分野を研究対象としています。その中でも、主として研究しているのは、「国際家族法」の分野です。

国際離婚や国際相続等、個人間の渉外的法律問題を解決する各国共通の裁判所はありませんから、まずは裁判管轄を決め、それが決まれば、日本では日本の、外国では外国の国際私法が適用され、どこの国の法律を適用するかが決まります。例えば、裁判管轄が日本となり、日本の国際私法の主たる法源である「法の適用に関する通則法」（以下、通則法とする）によって、一夫多妻婚を認める国や、代理出産による実親子関係を認めている国の法が適用される場合もあり得ます。そのような国の法が適用された場合、日本ではそれを受容することができるでしょうか。これは、「国際私法上の公序」に繋がる問題であり、通則法の下、外国法を適用した結果が公序良俗に反する場合には、当該外国法の適用を排除することができます。この排除する際の基準である公序概念について、各国共通のものを見出すことができますか？ということの研究当初からテーマとして掲げ、比較法的に検討しています。また、この長期的テーマを補完するために、わが国を含めた各国の家族に関する法的諸問題や新たな立法などについても研究をしています。

宗教や文化、倫理観等の違いから、各国の家族法の内容は様々です。異国の法文化について理解を深めることができるのも、この研究の魅力であり、それを少しでも肌で感じるために、研究対象としている国の裁判所等を訪問し、実地調査を取り入れてきました。世界最大のムスリム人口を抱えながらもイスラム教を国教とせず、婚姻法においては、個人の属する宗教によって適用法が異なるインドネシアに最近に関心を寄せています。

余談ですが、一昨年の夏、研究のため訪れたパプア州の州都ジャヤプラにて、インドネシアからの分離独立等をめぐる暴動に偶然遭遇しました。夜、ホテルの部屋から外を見ると、あちらこちら火の手が……。なんとか無事でしたが、恐ろしいほどリアルに異国を肌で感じることができました。

人文科学系 佐々木 彩



「パプア州メラウケ地方裁判所」

研究室紹介

クラブ活動報告

ハンドボール部

皆さんは、ハンドボールという競技をテレビ等で観戦したことはありますか？今回の東京オリンピックで初めて観戦した人も多いかもしれません。日本では、それほどメジャーな競技とは言えず、北海道だとマイナー競技という感じが否めません。しかし、スピードとパワーに溢れたダイナミックな競技としてヨーロッパでは非常に人気の高い競技で、実は世界で2番目に競技人口の多いスポーツと言われています。初見だと細かいルールは分かりづらいですが、バスケットのような基本ルールの中でサッカーの様にゴールを奪いあっていると理解して見ると分かり易く非常に面白いので、ぜひ一度観戦してみて欲しいと思います。

さて、苫小牧高専のハンドボール部ですが、実は非常に歴史が浅く、同好会結成から数えてもまだ10年足らずの部活になります。道内でハンドボール部がある中学校も少ないことから、入

部してくる部員の多くは初心者です。また、顧問の私も実技指導はできないポンコツ教員だったりします。ただ、同好会から部に這い上がり、満足の指導の無い中でも自分達で練習方法を考え・工夫してきた歴史から、部員の結束心が固く、熱心に練習に取り組む部活になっております。また、その成果として、この数年は年4回ある苫小牧・室蘭地区における高校生の大会において、他校と対等に渡り合っています。昨年度から、コロナ禍により思う様な大会参加は出来ておりませんが、今後とも1つでも多くの試合に勝てるように頑張りたいと思います。

最後に、良い意味で非常に門戸の広い部活になっています。興味がある人は、是非お声がけしてみてください。また、保護者の皆様におかれましては、今後ともご支援のほど、よろしくお願いいたします。



ハンドボール部顧問

浅見廣樹



ソフトテニス部

ソフトテニス部は、約30人、女子は男子に比べて少ないですが男女一緒に活動しています。練習は、雨の日以外の平日と休日1回で基本的には学校のコート、休日には市のコートでも行っています。目標は、高体連全道と高専大会全国に出場することです。

現在部員の半分以上が小学校と中学校からの経験者ですが、高校から始めた人も多いです。ソフトテニスは初心者でもすぐに上達することができ、高校で始めた人でも高校の全道大会に出場した人もいます。経験者の人で、中学校ではあまり成績が残せなかった人でも先輩からの指導を受けて練習を行った結果全道大会に出場することができるようになり、地区の大会でも好成績を残せるようになった人もいます。高校の大会だけではなく、高専大会でも近年は全道優勝、全国出場などの成績を残しています。

ソフトテニス部は、全体的に仲が良く練習の雰囲気もととても良いです。夏休みなどの長期休暇には、住んでいる地域がバラバラで部活をするのも難しい中で、地域が近い人同士でテニスをしています。部活以外にも普段の会話でテニスの話をし、その中で先輩後輩関係なくアドバイスをすることで日々成長しています。その他にも休みの日に、自主練やランニング、素振りなど

を個人で行っていたことに周りが影響され自主練をする人が増えるなどいい影響を与えています。

最近では、部員の数も増えてきていて活動もより活発になっています。さらにソフトテニス部では、部活以外のことを優先することもできてとても自由です。部員の中ではたまに部活に来る人や違う部活と兼部している人もいます。ソフトテニスに少しでも興味のある人やソフトテニスをやっていた人はぜひ入部待っています！そして、これからもソフトテニス部の応援をよろしくお願いします！



4年4組

堀井翔太



美術同好会

現在、美術同好会は1年生～5年生の23名、月、水、金曜日の週三日、鵬翔会館で活動しています。美術同好会は自由な雰囲気で行っており、兼部している人もいます。また活動の参加も自由で、各々自分の意思で活動に参加することができます。

普段の活動では、絵を描いたり、アクセサリを作ったりと多岐にわたる活動を行っており、特に決まった作業を全体で行うようなことはせず、和気あいあいと楽しく活動しています。また、現在はなかなか集まることができず行っていないのですが、過去には集まった人達で同じモチーフに対してデッサンを行ったり、寮前の桜の木のスケッチを行ったりしていました。

毎年、美術同好会は高専祭で絵しりとりや個人製作、アクセサリ販売、共同制作、高専祭ポスターの作成などを行ってきました。共同制作は年によって異なり、2018年はテクノ手芸、2019年にはacrylic pouringを行いました。テクノ手芸

とは電子工作と手芸を組み合わせただけのもので、高専祭では点滅する電球や電子回路などを用いて、美しい街並みを再現しました。Acrylic pouringはアクリル絵の具をベニヤ板の上に注ぎ込み美しい模様を作り上げるというもので、みんなで協力しながら、色とりどりの美しい模様を作り上げることができました。

今後の活動では、何かに固執することなく、メンバー全員がのびのびと創作活動に専念できるようにし、メンバーの素晴らしい作品たちが展示される機会を提供できればよいと思っています。

経験のない人、知識のない人、絵が得意でない人、誰でも構いません。少しでも興味のある人は見学にぜひ来てみてください。



4年3組

柏 正剛



アニメーション同好会

私たちアニメーション同好会は、現在9人程度で活動しています。毎週火曜日に集まって、アニメを見ながら作業を行ったり、そのアニメについて語ったりするのが通常の活動内容になります。その他にも、高専祭での出店に向けて大型看板の作成、ラミネートカードの作成などを行うこともあります。特に大型看板は色づくり、色塗りなどすべての工程を含めると3か月を要する大作です。作成した看板は歴代の看板と一緒に展示、ラミネートカードは店内にて頒布を行っています。

この同好会の特色は、同好会という名前の通り比較的緩く自由な活動内容です。火曜日の集会は参加自由で、会費も集めていません。活動内容は年度の始めに会員内で会議を行って決定します。

さらに、定期的に新入生も含めてどんな活動がしたいか、どのようにすればよりよい活動になるかを話し合い、スケジュールに反映しています。活動目的は画力の向上をはかることですが、根幹にあるこの同好会の存在意義は、活動を通して放課後を楽しみ過ごすようにすることです。絵に関して未経験者でも、経験者でも構いません。アニメが好きで、他の人と意見を交換したり、感想を共有したりしたいという人が集まって

います。

去年は高専祭が中止になったことで看板製作も中止になり、会員も中々集まることができずほとんど活動停止という状態になってしまいました。その反省を生かして、今年はそれぞれができること、集まるときにしたいことに注目し、活動を止まることなく行っていけるよう努力しています。来年は、どんな活動形態になったとしても新入生や現会員が活発に楽しめるような場を用意できるよう工夫して活動していこうと考えています。



4年5組

大西 美月



Club Activities

Club Activities

バスケットボール部

バスケットボール部は男子35名、女子7名で活動しています。平日は2~3日の練習で、土日のどちらか1日に練習をしたり、他校と練習試合をしたりしています。

普段は1~3年生までの高校生チームが高体連に向けて練習に励んでいます。そこには4~5年生も混じって一緒に練習したり、練習のサポートをしたりしています。

高体連が終わったら次は高専大会です。この大会は1~5年生の全学年が出られて、高専ならではの大会になります。

この時は5年生が主体となって、全道で勝てるように練習をしています。今年度は全道優勝を果たし、全国大会の為に暑さに耐えながら全学年で切磋琢磨しています！

今年で全国大会の切符を5年連続掴み取っているため、来年以降も是非全国大会に出場して欲しいです！

因みに高専大会では1年生でもメンバーに入れたりしています。向上心と勝ちたい気持ちがあれば、低学年でもメンバーには入れます！

また、部員の中には高専に入ってから始めたという人もいます。



5年2組

田戸岡 聖

そういった方でも色々な部員からアドバイスを貰い、急成長を遂げたりもしていました。自分の努力次第でいくらかでも伸ばす環境があるのがバスケットボール部です。

バスケットに興味を持ったきっかけは何

でもOKです。是非一緒にバスケットをしましょう！

最初は見学だけでも大歓迎なので、お待ちしています！



陸上部

こんにちは、陸上部の竹田悠真です。陸上部では総勢19名、週4日グラウンドで活動しています。陸上競技を高専から始めた人も沢山います！「きついけど楽しい」をモットーに基礎練習、ジョグ、筋トレ、種目練習、ポイント練習、ストレッチなど日々様々な練習を行っています。活動時間は15時45分から17時半までと集中的に行い、通学生でも活動しやすくなっています。

陸上を経験したことがない人は「ただ走っているだけ」、「つまらなそう」なんてイメージを持っているかもしれません。それは大きな間違いです！毎日のきつい練習の成果が大会において記録として数字で現れ、たった0.1秒の自己記録の更新がこの上ない達成

感に繋がります。こんなスポーツは陸上以外にないと思います。また、短距離から長距離、フィールド競技まで様々な種目があり、自分の適性を見つけるのも陸上の楽しみの一つです。個人競技ではありますが、チームの応援やサポートが

とても励みになる、そんな魅力も持っています。

今年度はコロナの影響もあり思うように練習できないこともありましたが、出場できる大会に全力で臨み、高体連では全道大会に8名の部員が出場しました。毎年、高体連、高専大会地区予選、全国大会など多くの遠征を行い、先輩たちと様々なコミュニケーションが取れます。部活で出来た先輩や同学年との関係は、高専生活、またはその後の人生において、かけがえのないものになります。先輩にはテストのコツや系選択においてもアドバイスを貰えます。

現在、陸上部には高体連全道大会、全国高専大会出場者もたくさんおり、陸上部はやる気と勢いに満ちています。私たちと一緒に走ってみませんか？興味があったらグラウンドまで見学に来てください！



4年2組

竹田悠真



卓上ゲーム同好会

卓上ゲーム同好会はほぼ毎日、鵬翔会館2階の部室で活動しています。活動は自由参加で、兼部している人も相応にいます。普段の活動内容としては、集まった部員で様々なボードゲームを遊んでいます。また、年に数回コミュニティセンターなどの一室を借りてTRPGなどをする会合を開きます。

ボードゲームというとすぐろくや人生ゲームを想像する人が多いかもしれませんが、しかし、それだけではなく、有名どころでは『カタン』や『ドミニオン』、心理的ゲームだと『人狼ゲーム』や『インサイダーゲーム』、パーティーゲームだと『キャット&チョコレート』や『コヨーテ』など幅広くプレイしています。部室には40種以上のボードゲームがありますが、遊びたいボードゲームを持ち込むのも歓迎しています。



3年5組

黒田 巧

卓上ゲーム同好会の良い所は、何といってもボードゲームで遊べるところです。「卓上ゲーム同好会」なのだからボードゲームが出来るのは当たり前だろうと思うかもしれませんが、ボードゲームに興味があっても、遊ぶためにはプレイヤーとボードゲーム自体が必要になります。プレイヤーの確保は思いのほか難しく、ボードゲームは相応に値が張ります。しかし、同好会にはボードゲームに興味がある同好の士ばかりですし、部室には様々なボードゲームがあるため、これらの問題を解決することが出来るのです。

昨年度より続く新型コロナウイルスの流行によって、道具を共有することの多い当同好会は活動の幅を狭めている状況にあります。しかし、悪い影響ばかりではなく、ステイホームの提唱によってボードゲームに注目が集まり、テレビなどで紹介されることも多くなりました。新入部員が例年よりかなり多かったのも、この影響でしょう。皆さんもこの機会にボードゲームで遊んでみてはいかがでしょうか。

昨年より続く新型コロナウイルスの流行によって、道具を共有することの多い当同好会は活動の幅を狭めている状況にあります。しかし、悪い影響ばかりではなく、ステイホームの提唱によってボードゲームに注目が集まり、テレビなどで紹介されることも多くなりました。新入部員が例年よりかなり多かったのも、この影響でしょう。皆さんもこの機会にボードゲームで遊んでみてはいかがでしょうか。



新聞局

新聞局は月に一度を目安に不定期で活動しています。発行する新聞は年に数回発行する[凍天]と年に一度、[凍天]に比べ規模の大きい[にしきおか]の二種類であり、「全学生に有益な情報を少しでも発信できるように」と心がけて活動しています。

活動内容は記事の内容決定、担当者決め、取材および執筆、編集、発行です。記事の内容は主に高専大会に出場するクラブの意気込みや決意表明、新任の先生へのインタビュー、一年生向けの系紹介、高専祭、体育大会関係などです。



5年4組

宮崎洋輔

局員は基本的に二人一組で取材、執筆を行います。こうすることで、意見をお互いにかわすことができ、より完成度の高い記事ができるからです。また局員間での交流にもつながり、雰囲気の良い新聞局を作ることできます。

先日、友人に意見を聞いた際に出てきた「そもそも存在を知らなかった」という言葉を受けて、まだまだ新聞局は全学生に浸透していない様子であることを知りました。この解決策は新聞局の開催日程を増やすこと、新聞の発行回数を増やすことなどがあげられると考えています。また、新聞局長としては全学生と協力して、新聞記

事を作り上げていきたいとも考えています。そうすれば、全学生に新聞局の活動を知ってもらえますし、全学生にとって情報収集の一つにもなるのではないのでしょうか。

全学生が関心を示すような情報の内容を発信できるように努めますので、取材などの依頼があった場合はご協力の程よろしく願いいたします。



Club Activities

TOPICS

「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」に認定されました

令和3年6月30日付けで苫小牧工業高等専門学校が文部科学省より、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」に認定されました。

本教育プログラムは、本校の正規の課程において、学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、かつ、数理・データサイエンス・AIを適切に理解し、それを活用する基礎的な能力を育成することを目標として、数理・データサイエンス・AIに関する知識および技術について体系的な教育を行う機関として文部科学大臣から認定・選定・奨励されたものです。今回の第1回目での認定は全国11大学（高専含む）で、北海道では苫小牧高専が唯一認定されました。

本校におけるプログラムは、第1学年の必修科目により構成されているため、令和2年度以降に入学した学生はプログラムの修了が認定されます。

今後も学生の数理データサイエンス・AIに関する基礎的な能力の向上を図る機会の拡大に務め、日本初の認定機関としての役割を果たしていきます。

詳細はこちら

数理・データサイエンス・AI教育プログラム (<https://www.tomakomai-ct.ac.jp/datascience>)



「ガールズトーク With サイエンス」を実施しました

令和3年7月31日(土)、本校学術情報センター2Fセミナールームにおいて「ガールズトークWithサイエンス」を実施しました。

このイベントは女子中学生を対象とし、工作などの体験を行うとともに、女子高専生と直接トークをすることで、高専生活や技術者教育の魅力の一端を伝えることを目的としたものです。

定員を大幅に上回る応募があり、当日は苫小牧市内のほか、白老町・登別市・札幌市・小樽市・帯広市などから合計25名の中学生が参加しました。

まず初めに、本校サイエンス部に所属する女子学生による指導のもと、ジェルキャンドルの制作に挑戦。どの参加者もオリジナリティあふれる素敵なジェルキャンドルを作成していました。

続いて、その名のとおり女子中学生と女子学生のみによるガールズトークが繰り広げられました。

最後は、レーザー加工機を使ってお菓자에刻印する実演が披露され、興味津々に女子中学生たちが見学をしていました。

また、帰りには、予めレーザー加工機で中学校名と名前が刻印されラッピングしたお菓子が配られ、参加者たちはそれを持って嬉しそうに帰路についていました。

参加者からのアンケートによると「今まで高専という場所があることは知っていたけど、改めてどんなところなのかを知れてよかった。」「苫小牧高専の生徒のみなさんが分かりやすく説明してくれたりして楽しく親しみやすく、楽しかったです。」「高専について色々なことが知れて良かったです。ジェルキャンドル作りもとても楽しかったです。」「高専のことを沢山知れたし、学科についてとても分かりやすく教えてくれたので、楽しかった。」「ジェルキャンドル作りでは、海をテーマに作り、とても可愛く作ることができました！とても楽しかったのでもた参加したいです。ガールズトークで高専について知ることができたので参考にして高校を選んで行きたいです。レーザー加工機もとても面白かったです。」といった感想が寄せられ、当初の目的は達成することができたのではないかと考えています。

本校では今後とも、このような中学生向けのイベントを実施していく予定です。



全体説明



ジェルキャンドル作り

フラー(株)と包括連携協定を締結しました

8月6日、本校において、フラー株式会社と、「苫小牧工業高等専門学校とフラー株式会社の包括的連携に関する協定書」を締結しました。

本協定は、①学生のIT教育及び起業支援教育、②学術研究、③地域創生を主とした包括連携協定です。

本協定は、先進的IT分野の教育及び起業家育成のためのアントレプレナーシップ教育、苫小牧地域の観光分野等に関する学術研究に相互協力し、地域社会の発展に寄与することを主な目的としております。

本協定に基づき、幅広い分野での協力体制が整備されたことで、相互に協力し合い、様々な連携活動が活性化されるなど、今後益々の発展に繋がることが期待されます。



令和3年度公開講座を実施しました

8月4日(木)から8月6日(金)の3日間、9つのテーマで公開講座を開催しました。今年も多くの方から応募いただき、9講座約100名が参加しました。

8月4日(木)

1. 中学生のための化学実験講座

「色ガラス玉と紫外線硬化樹脂を使ってペンダントをつくろう」「UVレジンで紫外線チェッカーをつくろう」「金属マンガンをつくってみよう」「イオン交換で金属汚染水をきれいにしよう」「化学物質を合成し目・鼻で感じてみよう」「吸水性ポリマーに触れてみよう」の6テーマから、希望する2テーマを選んで実際に体験する講座でした。



2. 小・中学生のための「ロボット」プログラミング講座

ロボットやプログラムの基礎を学んでもらい、その後、ロボットを組み立てていき、プログラム通りに動作することを実際に確認するという講座でした。



3. サンドブラストでガラスに模様を描いてみよう

圧縮した空気に砂を混ぜて勢いよくガラスに吹き付けると表面が削れることを利用し、書きたい模様の部分にだけ砂が当たるようにして、ガラスまたはガラスビンに自分の好きな絵や文字を書くという講座でした。



8月5日(金)

4. 不思議マテリアルを使ったものづくり体験講座

暗くなると光る蓄光材料という特殊な素材を使った簡単な夜光アクセサリ作りと、お湯に付けると形状が元に戻る形状記憶合金への形状記憶体験をしてもらうという講座でした。



5. 水素エネルギー体験講座！

将来のエネルギーとして期待されている水素エネルギーを利用した燃料電池を使って電気をつくる体験をし、燃料電池にミニカーの製作を行うという講座でした。



6. はじめてのPythonプログラミング(遠隔講座)

プログラミング言語のPythonを用いて、プログラムの作り方を学び、実際に簡単なプログラミングを行うという講座でした。遠隔方式により実施しました。



7. コンピュータで論理パズルを解いてみよう

コンピュータの基本的な操作を学び、論理パズルの文章を読み解いて、論理による数式を導くという講座でした。



8. 夏休み工作教室～「ホバークラフトを作ってみよう」

身近な材料を利用して、ホバークラフトを製作するという講座でした。



8月6日(金)

9. Arduinoで学ぶIoT入門講座

最先端技術であるIoT(Internet of Things)について、Arduinoで簡単な回路製作およびプログラミングを行いながら学ぶという講座でした。



本校専攻科生2名が研究会で優秀ポスター賞を受賞しました

高分子学会北海道支部若手研究会(オンライン開催、8月27日金曜日)にて、専攻科環境システム工学専攻2年のコノリー里沙さんと野田純希君が下記研究題目で発表し、「優秀ポスター賞」をダブル受賞しました。発表件数31件のうち、研究内容と発表技術が優れた上位4名に与えられたものです。

受賞研究題目：「セルロースを用いた糖鎖クラスター材料の開発」
発表者氏名：コノリー里沙、浅野美月(5年3組)
尾形慎(福島大農)、甲野裕之(指導教員)

受賞研究題目：「酸化スクロースのアミノ多糖リンカーとしての応用」
発表者氏名：野田純希、甲野裕之(指導教員)

優秀な成績を修めた両名は、今後もさらなる活躍が期待されます。



国立高専初の人工衛星KOSEN-1のJAXAイプシロンロケットによる打ち上げ予定について

高知高専と群馬高専を中心とする10高専(高知高専、群馬高専、徳山高専、岐阜高専、香川高専、米子高専、明石高専、新居浜高専、鹿児島高専、苫小牧高専)が開発した超小型衛星(キューブサット)のKOSEN-1衛星の打ち上げ予定日が、10月1日(金)9時48分頃～9時59分頃(日本標準時)に決まりました(1)(2)。

このKOSEN-1衛星は、2018年12月にJAXA革新的衛星技術実証2号機に搭載される実証テーマに選定され、高専生を中心に2年半かけて開発されたもので、3つの新しい宇宙技術実証を行うことになっています(3)。

なお、このKOSEN-1衛星開発プロジェクトは、文部科学省の宇宙航空人材育成プログラム「継続的な超小型衛星開発・運用を通じた次世代の高専型宇宙人材育成」(高知高専を含む6高専の共同事業で代表校は新居浜高専)により支援を受けております(4)。

(1)JAXAホームページ：イプシロンロケット5号機による革新的衛星技術実証2号機の打上げについて

https://www.jaxa.jp/press/2021/08/20210820-2_j.html

(2)YouTube：JAXA革新的衛星技術実証2号機/イプシロンロケット5号機フライトシーケンスCGの紹介

<https://youtu.be/VyZj-gaKqSI>

(3)JAXAホームページ：木星電波観測技術実証衛星「KOSEN-1」インタビュー記事

https://www.kenkai.jaxa.jp/kakushin/interview/02/interview02_16.html

(4)新居浜高専ホームページ：文部科学省「宇宙航空人材育成プログラム」に採択されました

<https://www.niihama-nct.ac.jp/2020/07/22/entry-topics-19090/>

(5)高知高専ホームページ：

・JAXAのホームページにKOSEN-1衛星のインタビュー記事が公開されました

<https://www.kochi-ct.ac.jp/news/archives/581>

・文部科学省「宇宙航空人材育成プログラム」に採択されました

<https://www.kochi-ct.ac.jp/news/archives/468>

・高知高専・群馬高専を中心とする10高専による超小型衛星がJAXA革新的衛星技術実証2号機に搭載される実証テーマに選定されました

<https://www.kochi-ct.ac.jp/news/archives/247>

(6)高知新聞ホームページ

・高専の人工衛星が完成 高知を中心に開発、21年度内に打ち上げ

<https://www.kochinews.co.jp/article/480227/>

・「高専人工衛星」試作機が完成、2021年度内に宇宙へ 高知高専など開発

<https://www.kochinews.co.jp/article/431741/>

・「高専人工衛星」2年続けて宇宙へ 高知の学生ら開発に熱

<https://www.kochinews.co.jp/article/398146>

・高知高専が人工衛星開発へ 木星電波観測 20年にも打ち上げ

<https://www.kochinews.co.jp/article/243077/>

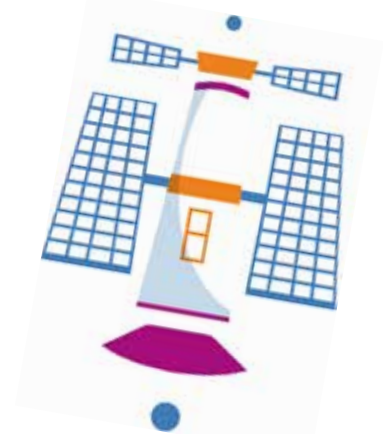
なお、月刊高専にも下記のように2件の関連する記事が出ております。

高専が開発する人工衛星「KOSEN-1」など、宇宙開発に携わる人材育成に熱意を燃やす

<https://gekkan-kosen.com/598/>

高専の宇宙開発人材育成を支え、親子2代でつなぐ木星電波の研究

<https://gekkan-kosen.com/2943/>



高専協力会だより

苫小牧高専協力会の活動について

1 専攻科研究・研究シーズ発表会の開催

苫小牧高専地域連携シンポジウム2020

【コロナにより中止】

2 定期総会の開催（書面による開催）

日時：2020年7月15日（水）

3 会員企業合同研究会の開催

第9回苫小牧工業高等専門学校協力会会員企業合同研究会

日 時	2021年1月22日（金） 午前：10：40～12：10／午後：14：50～16：20
場 所	苫小牧工業高等専門学校第一体育館
出展企業	80社

【コロナにより開催方法変更】

・WEBサイトの開設と企業紹介パンフレット配布



4 学校・学生との交流・共同事業

- ・2020年度専攻科1学年授業科目「共同教育」
- ・苫小牧高専「創造工学I・III」における座談会「ジョブトーク」
- ・2020年度「共同教育プロジェクト成果発表会」の共催

5 関連事業への協力

- ・苫小牧高専サテライト「C-base」との連携・協力
- ・モンゴル高専生インターンシップ並びに就職への協力
- ・苫小牧高専地域共同研究センター研究助成審査委員会への参画
- ・第31回全国高等専門学校プログラミングコンテストへの後援

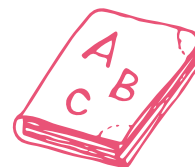
6 道内4高専卒業者向け

「I・Uターンマッチングシステム」への参画

会員企業50社が参画

7 各種助成・図書寄贈

- ・苫小牧高専地域共同研究センターへの研究費助成
- ・学術情報センターへの図書寄贈
- ・専攻科1学年授業科目「共同教育」への助成



人事異動

○令和3年4月30日付

非常勤教職員

【辞職】

総務課財務係事務補佐員 高 玉 智

○令和3年5月12日付

非常勤教職員

【採用】

技術補佐員（村本研究室） 尾 田 龍 司

○令和3年5月26日付

非常勤教職員

【雇用期間の満了】

技術補佐員（村本研究室） 尾 田 龍 司

○令和3年5月31日付

常勤教職員

【雇用期間の満了】

創造工学科准教授（総合人文科学系担当） 平 野 摂 子

○令和3年6月1日付

非常勤教職員

【採用】

特命准教授（須田研究室） 立 蔵 祐 樹

総務課財務係事務補佐員 海馬澤里穂

技術補佐員（村本研究室） 尾 田 龍 司

○令和3年7月1日付

常勤教職員

【配置換】

総務課人事係長

総務課財務係長

総務課企画調査係主任

総務課調達係

学生課教務係長

学生課寮務係長

学生課図書係主任

学生課教務係

旭川工業高等専門学校学生課図書係長 本 間 暁

【併任】

学生課図書係長

村 田 雅 彦

（学生課教務係長）

酒 井 俊 輔

（総務課人事係長）

吉 田 洋 介

（総務課調達係主任）

小 幡 修 平

（学生課教務係）

兼 宗 昌 弘

（学生課寮務係長）

吉 田 智 昭

（学生課図書係長）

今野みちる

（総務課企画調査係主任）

箭 子 涼 太

（学生課学生係）

森 博 和

（学生課課長補佐）

○令和3年7月1日付

非常勤教職員

【採用】

技術補佐員（岩波研究室）

石 川 勇 人

技術補佐員（三上研究室）

齋 藤 宥 杜

○令和3年7月15日付

非常勤教職員

【採用】

技術補佐員（甲野研究室）

コノリ一里沙ヲ

技術補佐員（甲野研究室）

野 田 純 希

○令和3年7月31日付

非常勤教職員

【辞職】

総務課財務係事務補佐員

海馬澤里穂

【雇用期間の満了】

技術補佐員（村本研究室）

尾 田 龍 司

○令和3年9月6日付

非常勤教職員

【採用】

技術補佐員（村本研究室）

尾 田 龍 司

高専通信

vol.157 contents

1	第2学年オリエンテーション	7	
2	新留学生紹介 研究室紹介	8	TOPICS
3		9	
4		10	高専協力会だより
5	クラブ活動報告		人事異動
6			

編集後記

今回の高専通信第157号では、今年度前半の各種活動についてお知らせしています。

昨年度に引き続き様々な制約のある中ですが、学生みなさんがそれぞれに工夫を凝らしながらクラブ活動等に取り組んでいる様子が伺えます。

昨今は学会もオンラインでの開催が増えておりますが、今号では専攻科生2名の発表が素晴らしい成果を収めた様子をご報告できました。また、学外のコンテストやイベント等にもオンラインで参加する学生が増えてきているようです。困難な状況下でも前向きに活動する姿をととても頼もしく感じます。

例年、この時期の高専通信では前期の各種行事（高専体育大会や国際交流、寮祭、春季体育大会）についてご報告しておりました。これらが軒並み延期・中止となり、非常に心苦しい限りです。しかし、今年度は12月に高専祭が予定されています。学生みなさんも心待ちにしていることでしょう。2年ぶりの一大行事をぜひ大いに楽しんでほしいと思います。

総務主事補 石川愛弓

〔高専通信に関するお問い合わせ先〕

苫小牧工業高等専門学校 総務課総務係 ☎059-1275 苫小牧市字錦岡443
TEL.0144-67-0213 [MAIL] pub_info@tomakomai-ct.ac.jp

